

2014.2.27
巻地区公民館

西蒲区

西蒲区自治協議会まちづくりワークショップのまとめ

新潟市西蒲区自治協議会



日時：2014年2月27日(木) 16:05~17:25

場所：巻地区公民館 3階 小ホール

主催：西蒲区地域課、政策調整課

コーディネート：NPO 法人 まちづくり学校

当日のプログラム

時間	内容
16:05	オープニング(主催者挨拶)
16:10	区ビジョン点検シートの説明
16:20	ワークショップの手順説明
16:25	質疑応答
16:30	グループ内での各取り組み評価(成果・課題)
16:45	目標についての意見整理
16:55	今後の方向性についての意見整理
17:05	全体確認
17:25	終了

当日のワークショップ風景



1

魅力ある農業の振興

グループ：① 小出章子、坂爪惣一郎、土田正志、山田由美子

目標の改善案

(修正案) 変更なし

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

様々なイベントに対する評価

- 潟東のかもんカモねぎ祭りなどで、地産の野菜や魚などを使った料理が出される。
- 良い野菜を作れば買ってもらえる。
- 農業イベントは続けることが大事。
- かもんカモねぎ祭りは地域総出でとてもにぎやかである。

- 大地の恵フェアなどのイベントは、日程や会場の位置により集客が左右される。
- 果樹地帯であるが販売PRが不足している。
(体験公園)

市民農園・収穫農園に対する評価

〔中之口農業体験公園〕

- 体験公園ができて、集落の拠点になった。
- 貸農園で他地区の方も来るようになった。
- 子どもたちが農業を体験できる。
- 素人でも農業の指導してもらえる。

〔中之口農業体験公園〕

- イベント時以外は利用者が少ない。

全体評価

- 生産者が正直であること。低農薬など。

- 農家レストランは難しいとのことで、実現していない。
- 六次産業化への取組みはなかなか進んでいない。
- 農産物のシェア拡大は、地域内・地域外のいずれを目指しているのか。【グループ:⑤】

今後何をして行ったら良いか

- 小さな農家への配慮。
- 一人住まいの離農家のために若者が話をする「巡回隊」を作りたい。
- 所得と夢を持たせるために、円安を利用し高級作物の輸出をしたい。
- 婚活をやり何組かまとまった。これからもやってもらいたい。
- 仲間組織をつくる。(目標・目的別)
- 西蒲区の特性としては「農業」だが農業振興という言葉については、区ビジョンとして良いかどうか疑問。(もっと違う表現で)【グループ:④】
- キーワードは仲間作り!(老人会・婦人会など)「絆」が大切。

2

地場産業の振興

グループ：② 大倉繁宏、倉澤元、阿部高吉、佐藤一栄

目標の改善案

(修正案) 1 地場産業の振興 2 環境にやさしいまち、住みよいまちづくり
 目標をわかりやすく、『産業の振興、まちなかの活性化』と『環境保全』に関連する項目の目標に分ける。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

商店街活性化に対する評価

<ul style="list-style-type: none"> ○鯛車を使ったイベントが季節の折り目に行われているのは良い。 ○巻地区での「多加良祭り」等の行事が企画されている。その当日も含めてにぎわいの機会があることは良い。 ○街路灯のLED化。(一部らしいが) 	<ul style="list-style-type: none"> ○囲炉裏交流館等の試みがみられるが、空き店舗、シャッター店舗が多く見られるのは残念。 ○事業の進め方に問題。(県へ要望しただけの回答) ○イベントの周知不足。 ○広報が悪い。市民は何をやっているかわからない。
--	---

保安林・海岸林に対する評価

<p>[海岸保安林]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○薬剤散布実施により、3年目で枯れ松被害が少なくなった。 	<p>[森林保全]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単一自治会との連携のため、他の地域にみえない。 ○山に魅力が無く、親からの相続説明がない。 ○担い手不足。 <p>[海岸保安林]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○何年後に枯れ松が止まるか。 ○代替林はどのように考えているか。
---	---

今後何をして行ったら良いか

- FM ラジオによる広報。とにかく情報。
- 話し合いを持って情報交換を増やす。
- 地域の連携による取り組み。
- 適切な広報。組織作り。

3

観光拠点づくり

グループ：③ 真島彰夫、本間博子、小野塚昇

目標の改善案

(修正案) 観光と文化のまちづくり～観光(地)の宣伝強化～

観光と同様に、文化に富んだまちづくりが必要。また、観光PRが不足していることから、宣伝の強化が必要。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

観光複合施設「いわむろや」に対する評価

<ul style="list-style-type: none"> ○多様な事業で数多くの人々が訪れ、交流の場として成果が大きい。 ○数回来店しているが、他の道の駅と比較しても良い方だと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新鮮さが足りない野菜もある。責任者がきちんと管理する必要あり。 ○「いわむろや」が整備されたが、他の観光施設との連携が取れていない。【グループ:⑤】
--	--

岩室湯のさと公園整備に対する評価

<ul style="list-style-type: none"> ○温泉地に他の目的となる公園ができたことにより幅広い観光客の誘致を期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○PR 不足。北国街道との一本化を目指したらどうか。 ○水源不足。魚が生きられない。
---	---

武蔵野美術大学との連携に対する評価

<ul style="list-style-type: none"> ○わらアートの作品は素晴らしいと思う。SNS で発信したら喜ばれた。 ○交流人口の拡大に大きく役立っている。 ○わらアート、かかしコンテストは集客効果が大きい。【グループ:①】 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流先の特定は展開が狭くなる。【グループ:①】 ○わらアートの費用対効果はどうか。【グループ:①】 ○「ふる里会」との交流不足【グループ:①】
--	--

まちあるきガイドに対する評価

<ul style="list-style-type: none"> ○活躍が見られる。今後も期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○北国街道に関するイベントでおもてなしをやって欲しい。 ○北国街道の道しるべ、案内看板がない。 ○北国街道は西蒲区の観光資源。集落や道路に近いところの整備が必要。
--	---

今後何をして行ったら良いか

- 西蒲区の狭い範囲の事柄が多い。全国に発信できる事柄をこれから考えるべき。
- 角田山頂上にトイレ(有料でも)を設置して、地元コミ協に委託してはどうか。
- 三根山城址にトイレが欲しい。
- 道の駅を巻潟東インターに大々的に整備する。
- 観光施設や自然環境を利用してもらう。PR。【グループ:④】
- 「上堰湯(公園)は他区からも注目されている。工夫してもっと集客を考えてみる。【グループ:④】

4

交通の利便性の向上

グループ：④ 広野孝二、小林真由美、渡辺正明、河村一平

目標の改善案

(修正案) 交通空白地を解消し、きめ細かな公共交通体系の実現

西蒲区では、既存路線バスではカバーしきれない公共交通空白地が多く、これを解消するためにはデマンド交通などを視野に入れた、きめ細かな対応が必要

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

交通インフラに対する評価

[巻潟東インター]

- 無料駐車場が広くなり、高速バスが利用しやすくなった。(インター周辺)
- 高速道路の玄関として有効であった。
- インター周辺の整備が完成してよかった。

[道路整備]

- 国道整備ができて良かった。
- 岩室バイパス事業により、温泉郷の混雑解消ができ、散策に適した環境づくりとなった。

[巻潟東インター]

- 民家が近くにない為、夜の利用は無用心で利用しづらい。

J R越後線に対する評価

- 越後線に乗るにはバスが減便され、車で行かなければならないが駐車場がない。
- 巻駅前周辺整備を急ぐ必要あり。

区バスの運行に対する評価

- 区バス新飯田橋線が継続して良かった。

- 区バス社会実験は運行につながらないので、今後は不要。

公共交通の検討に対する評価

- 西蒲区としての交通事情がかなり浮き彫りになった。
- バス空白域になってしまっている地域に、昔のようなバスルートが再編される可能性ができた。

- マイカー全盛期の中で、バス交通推進をすすめようとするのは、なかなかむずかしいものがある。
- 潟東は集落によって白根方面、巻方面、西川方面と生活圏が異なるので、それを無視した社会実験バスでは利用しづらい。
- 農村部をマイカー地域にしてしまったのを取り戻すのは、バスルートやデマンド交通などでも無理。
- 社会実験に意義を感じられない。(本実施をして PR に力を入れるほうが良い)
- 区バス収支率30%の見直しが必要。

4

2014.2.27 西蒲区自治協議会まちづくりワークショップ

交通の利便性の向上

グループ：④ 広野孝二、小林真由美、渡辺正明、河村一平

今後何をして行ったら良いか

- デマンド交通への移行を考えていくべき。
- 区の中だけでなく、区を越えたルートづくりで展望が広がる場所はないか。
- 小さいバスやデマンド方式の乗合タクシーなどで、小回りのきく交通を整備した方が良いと思う。
- 交通空白域の解消。
- 交通のあり方検討をコミ協単位の地域で開催する。

5

スポーツが楽しめる環境づくり

グループ：⑤ 里村俊夫、細野一夫、大久保美恵子、森山邦衛、水野等

目標の改善案

(修正案) 変更なし

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

施設・整備に対する評価

[西川総合体育館]

- 交通の便が良い場所ということで、地域では満足している。
- 比較的近い距離に新しい体育館が建設されたことはとりあえず良かった。
- トレーニング器具が多種有り、それぞれ専門の指導員有り。
- スポーツを楽しめるようになったのは良かった。

- 使用料の減免を願う。
- 内容により使用料を免除した方が良い。
- 新しい建物は使用料が必要だと思うが、既存の古い建物は減免してほしい。
- 地元が使用しやすい様に。
- 西蒲区民の利用が少ないことが問題。

今後何をして行ったら良いか

- 西蒲区を代表するスポーツであるホッケーのジュニア層の育成が必要。
- 西蒲区民がより利用するような方策を講ずる必要がある。

区の将来像に対する意見

- 豊かな自然や歴史と文化のかおりがあふれ、人と人が行き交うまち【グループ:③】

目指す区の姿に対する意見

- 安心安全な明るい地域【グループ:②】
- 観光と健康づくりのまち【グループ:③】
- 人の和でふれあう温かいまち【グループ:③】
- 歴史文化を守り伝え続けるまち【グループ:⑤】

まちづくりに向けた施策の方向に対する新たな視点

[少子化への対応]

- 人口増加につながる子育て支援【グループ:④】

[高齢者への対応]

- 高齢者世帯の支援(医者・買物等の移動など…)【グループ:④】
- 老人の生きがい対策【グループ:④】